

キャンパス / Campus	宇都宮キャンパス / UTSUNOMIYA		
科目名 / Course Title	国際交流論 1 / International Communication 1		
担当責任者 / Instructor	林 春		
開講期 / Semester / Term	前期 / SPRING		
履修年次 / Target Grade	1,2,3,4		
単位数 / Credits	2.0		
分野・必修選択別 / Category / Required or Elective	総合基礎科目, 基礎分野 選択, 選択 選択 / Elective		
科目ナンバー / Course Number	0000-0H111		
ディプロマポリシー、修得目標との関連 / Diploma Policy / Learning Outcome	要件所属 / Course Name	ディプロマポリシー、修得目標 / Diploma Policy / Learning Outcome	DP値 / DP Point
	経済学部地域経済学科	国際性を有し、異文化を理解し、尊重できる。	1
		論理的・批判的思考、能動的な態度を有する。	1
		人文科学、社会科学、自然科学について幅広い関心と知識を有する。	1
	理工学部	国際性を有し、異文化を理解し、尊重できる。	1
		論理的・批判的思考、能動的な態度を有する。	1
		人文科学、社会科学、自然科学について幅広い関心と知識を有する。	1
	医療技術学部柔道整復学科	DP1. 柔道整復学の関連領域における基本的な科学的知識を有する。	1
	経済学部地域経済学科	人文科学、社会科学、自然科学について幅広い関心と知識を有する。	1
		論理的・批判的思考、能動的な態度を有する。	1
		国際性を有し、異文化を理解し、尊重できる。	1
	理工学部	国際性を有し、異文化を理解し、尊重できる。	1
		論理的・批判的思考、能動的な態度を有する。	1
		人文科学、社会科学、自然科学について幅広い関心と知識を有する。	1
	医療技術学部柔道整復学科	DP1. 柔道整復学の関連領域における基本的な科学的知識を有する。	1
	経済学部地域経済学科	国際性を有し、異文化を理解し、尊重できる。	1
		論理的・批判的思考、能動的な態度を有する。	1
		人文科学、社会科学、自然科学について幅広い関心と知識を有する。	1
	理工学部	学修目標 1 国際性を有し、異文化を理解し、尊重できる。	1
		学修目標 2 論理的・批判的思考、能動的な態度を有する。	1
		学修目標 3 人文科学、社会科学、自然科学について幅広い関心と知識を有する。	1
	医療技術学部柔道整復学科	DP1. 柔道整復学の関連領域における基本的な科学的知識を有する。	1
	理工学部機械・精密システム工学科	人文科学、社会科学、自然科学の幅広い知識から、人類や社会の福祉 増進について考察・判断することができる	1
		異なる文化や伝統に関する知識をもって、多様な考え方を受け入れて判断することができる	1
	理工学部航空宇宙工学科	人文科学、社会科学、自然科学に関する知識を習得し、専門的な活動に活用できる	1
航空宇宙分野の問題において、広い分野からの知識をもって問題を判断できる		1	
理工学部情報電子工学科	多様な背景をもつ人々に対する理解や想像力を柔軟に育みつづけることができる	1	
	人間と社会と環境の関係の重要性を、人文科学・社会科学・自然科学の知識を元に理解することができる	1	
理工学部バイオサイエンス学科	専門的な知識にのみならず、豊かな教養を身につけている（一般教養）	1	
	あらゆる生命を大切に、多様な生命との共存を意識して行動できる（生命倫理）	1	
医療技術学部柔道整復学科	幅広い教養を通して柔道整復師の意義を理解できる	1	

授業の概要 / Course Description	日本社会で暮らす人々の多様化が急速に進んできています。異なる国や人から様々な考えや価値観を積極的に受け入れ、理解することで、国際感覚あふれる人間に成長することが、私たち一人ひとりに求められています。このような国際的人材の育成はグローバル化社会において急務の課題です。このような背景を念頭に置きながら、本講義では、異文化とコミュニケーションの関係について様々な視座から学びます。また、第14回はグループでポスター発表を行います。なお、この授業では総合基礎科目の学修目標 1、2、3 に関する知識、技能、態度を修得します。	
授業の到達目標 / Course Objectives	国際交流と異文化について、理論と実践を通して理解し、国際的な感覚および能力を身につけ、国際問題の多面的な捉え方を身につけられるようになります。さらに、国際問題の理解と解釈に対する論理的評価ができるようになります。	
成績評価の方法および基準 / Method of Evaluation	方法および基準 / Method of Evaluation	レポート / Report(s) 50 % リアクションペーパー / Reaction Paper 30 % プレゼンテーション / Presentation 20 %
	その他コメント / Comments	100点満点で60点以上を合格とします。
試験・課題に対するフィードバック方法 / Method of Feedback on Exams and Assignments	フィードバック方法 / Method of Feedback on Exams and Assignments	授業内で解説を行う / In-Class Feedback、試験やレポート等について添削し返却する / Returning Exams and Assignments with Feedback
	その他コメント / Comments	
授業形態 / Course Style	講義 / Lecture	
この授業におけるアクティブ・ラーニングを実現するための教育手法 / Active Learning Method in Class	手法 / Active Learning Method in Class	グループワーク / Group Work、プレゼンテーション / Presentation
	その他コメント / Comments	
授業におけるICTの活用 / Use of ICT in Class	自主学习支援 (e-learning (LMS等) を活用) / Self-Study Support (Use of e-learning (LMS, etc.))	
事前事後学修の内容およびそれに必要な時間 / Study Required Outside of Class	1. テキストの関連部分を事前に予習するようにしてください。(30分) 2. 学習した内容を整理した後、自分の意見などを述べたうえで、感想文にまとめ、期限までに提出してください。(1.5時間)	
教科書 / 参考資料 (図書・映像) / Textbooks and Reference Materials	教科書: 『異文化理解入門』, ISBNコード (978-4-327-37734-2) 著者: 原沢伊都夫 発行所: 研究社	
その他履修上の注意点 / Notes	授業中にミニポスター発表を行いますので、それと関連する資料を調べたうえで、真剣に発表と質疑応答に取り組むことを求められています。 情報電子工学科を対象とするクラスにおいて、この科目はJABEE対応プログラムの必修科目 (選択必修科目)、学習・教育到達目標中項目1-1に対応する科目となります。 授業計画及び使用資料は、受講学生の状況により変更する場合があります。	
実務経験のある教員による授業 / Instructor's Practical Experience		
その他外部資料等	リンク1 / Link1	
	リンク2 / Link2	
	リンク3 / Link3	
	その他コメント / Comments	

授業計画詳細 / Course schedule

曜日・時限・組 / Day・Period・Class	担当教官 / Details of the instructor	学習内容・行動目標 / Content of study・Goal to act	備考 / Notes
第1回	林 春	オリエンテーションを行う。 担当者自己紹介、授業概要及び評価方法を説明する。 予習の内容は、授業中に指示する。	
第2回	林 春	文化交流史について概説する。	
第3回	林 春	文化の概念や特徴について学ぶ。	
第4回	林 春	コミュニケーションの概念について学ぶ。	
第5回	林 春	異文化適応について学ぶ。	
第6回	林 春	異文化の認識について学ぶ。	
第7回	林 春	差別について学ぶ。	
第8回	林 春	世界の価値観について学ぶ。	
第9回	林 春	異文化トレーニングについて学ぶ。	
第10回	林 春	異文化受容について学ぶ。	
第11回	林 春	自分を知ることについて学ぶ。	
第12回	林 春	非言語コミュニケーションについて学ぶ。	
第13回	林 春	アサーティブ・コミュニケーションについて学ぶ。	
第14回	林 春	多文化共生社会実現に向けての取り組みを具体的に考える。	
第15回	林 春	これまでの講義内容をまとめる。	